



特定非営利活動法人 世界の砂漠を緑で包む会

団体の概要

1998年設立、2003年NPO法人化。自力再生という考え方にに基づき、ゴビ砂漠の中国内モンゴル自治区阿拉善(アラシャン)地域において砂漠緑化、環境教育と国際交流をテーマとする砂漠化防止事業を始めとして中国内陸部の砂漠化防止に長期間注力。これら活動を乱開発で森林面積の多くが失われたエチオピアの里山復元にまで広げつつある。国内では石川県森林公園津幡園地での生物多様性復元事業を展開している。

本制度における森林保全活動の内容

森林の場所:津幡町能瀬(県森林公園)

樹種区分:その他広葉樹

林齢:3~15年

面積:1.94ha

実施項目:下刈り、除伐、間伐

実施時期:4月から11月

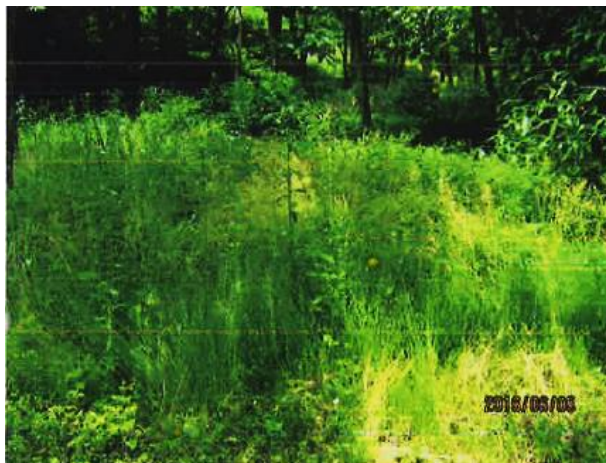
CO2吸収認証量:7.7t

県との協定に基づき、2011年7月から県森林公園津幡園地内の管理地にある荒廃放置されていた里山で、毎年下刈りや除伐・間伐を繰り返しながら、しばらくの間、オニクルミの森や桜園といった広葉樹の森、生息する小動物の餌になる木の実を産するクヌギ・コナラ等の植栽地に整備する一方で、耕作放棄地の水路跡を利用した観察池を造成し、周辺の生物多様性環境を復元目前まで来ている。2016年4月に県との協定を1年更新し、生物多様性復元および生きた森への全面再生に取り組んでいる。

森林保全活動の写真

1)下刈り

下刈り前①



下刈り後①



下刈り前②



下刈り後②



2) 植栽

植栽前



植栽後



本制度へのコメント

森林保全活動は長期間・継続的に取り組まないといけない活動です。今後も本制度を活用しながら、より良い森林保全活動を継続し、生物多様性を伴った生きた里山として次世代に引き継がれていく事を願っています。

特定非営利活動法人世界の砂漠を緑で包む会
会長 大澤 俊夫

ホームページ：<http://www8.plala.or.jp/tutumkai/about.articles.html>